JGC 日揮ホールディングス株式会社

〒220-6001
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1

Tel: 045-682-1111
Fax: 045-682-1112
https://www.jgc.com



統合報告書2026

JGC Report

Enhancing planetary health

JGC 日揮ホールディングス株式会社

JGC's Purpose and Values

2040年に向けて日揮グループは、パーパス（存在意義）を道標に、
グループ一丸となって共通の価値観を持ちながら、これまでに培ってきた能力や実績を駆使することで
「Planetary healthの向上に貢献する企業グループ」への変革に挑戦しています。

Purpose 私たちの存在意義

Enhancing planetary health

Values 私たちの価値観

私たちは、共通の価値観を持って行動します。

4つのちから

挑戦
新たな領域、技術、
手法に挑戦します

創造
社会と顧客のニーズに応え、
価値を創造します

結集
多様な人と
技術を結集します

完遂
いかなる困難も
克服し、完遂します

2つの誓い

尊重
すべての人を尊重し、
安全を優先します。

誠実
高い倫理観を持ち、
誠実に行動します。

日揮グループが今後も持続的に成長していくためには、
足元の環境変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、
産業と社会の発展に貢献するという創業以来の一貫した経営姿勢を、
「人と地球の健やかな未来づくりに貢献する」という、
長期的でグローバルな視座に拡張し、
自らを変革していく必要があると考えています。
この考えのもと、日揮グループは自らのパーパス（存在意義）を、
「Enhancing planetary health」と定義しています。
「“人と地球”の健康は密接に関係しており、この2つを追求していくことで、
豊かな未来を創っていく」というメッセージを込めています。

イントロダクション

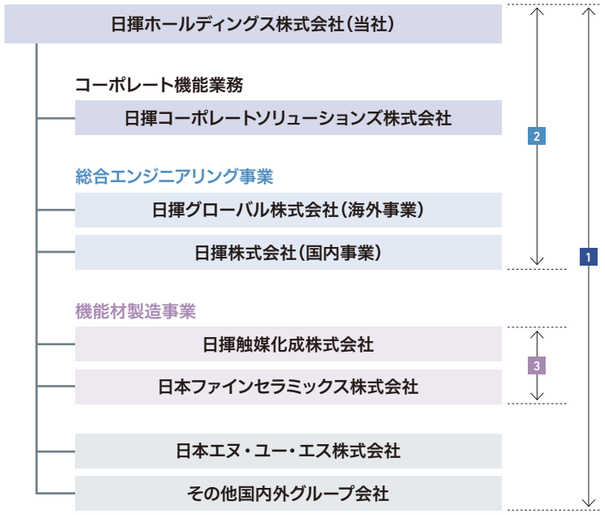
編集方針・目次

編集方針

本報告書の発行目的

当社は、2015年から「JGC Report」を発行し、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指す日揮グループの企業活動をご紹介しています。当社は本報告書を株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション・ツールとして活用し、引き続き建設的な対話を通じて、持続的な成長を目指していきます。

報告対象組織



1「日揮グループ」および「当社グループ」

「日揮ホールディングス株式会社」およびその傘下のグループ会社を指します。

2「エンジニアリング関連4社」

当社グループの中核である総合エンジニアリング事業を担う、またはこれに関連する4社（日揮ホールディングス株式会社、日揮グローバル株式会社、日揮株式会社、日揮コーポレートソリューションズ株式会社）を指します。これらの会社は、持株会社体制移行前は同一の会社（旧日揮株式会社）であった経緯があり、一部の取り組みがこの4社に限定されているため、便宜的に本用語を使用しています。

3「機能材製造事業各社」

当社グループの機能材製造事業を担う主要な事業会社（日揮触媒化成株式会社、日本ファインセラミックス株式会社）を指します。

報告対象期間

2025年4月～2026年3月（2025年度）を原則としつつ、一部に対象期間前後の活動内容を含みます。

将来の見通しに関する注意

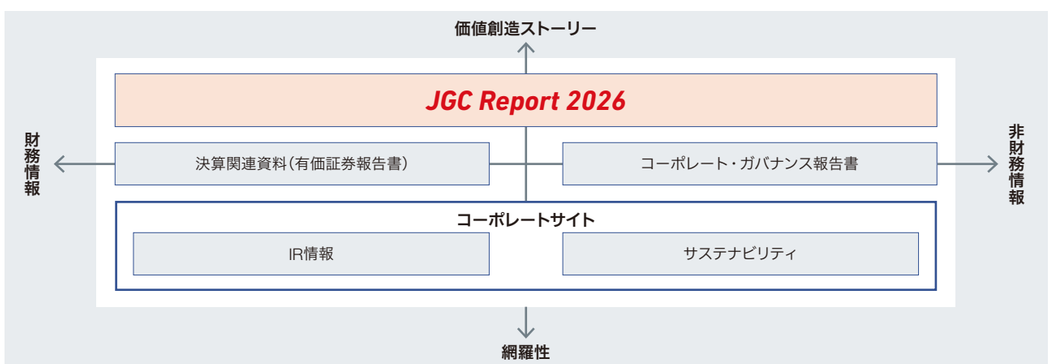
本報告書にて開示されているデータや将来予測は、発行時現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。

参照ガイドライン

編集においては、IFRS財団やWICIなどが推奨する国際統合報告フレームワークや経済産業省による価値協創ガイダンスを参照しています。

本報告書の位置付け

本報告書では、当社グループならびに社会にとって特に重要度が高い情報を集約して掲載しています。財務・非財務にかかわるより詳細かつ網羅的な情報については、当社ウェブサイトやその他の開示書類をご参照ください。



目次

「JGC Report 2026」では、8つのチャプターに分け、マネジメントメッセージや持続的成長に向けた日揮グループの戦略、経営資本拡充の取り組みなどをご紹介しています。

Chapter 1 イントロダクション
1 JGC's Purpose and Values
3 編集方針・目次
5 日揮グループ At a Glance

Chapter 2 トップインタビュー
7 CEOメッセージ
15 CFOメッセージ

Chapter 3 持続的成長に向けた経営戦略―BSP2030策定―
23 新中期経営計画「BSP2030」
25 前中期経営計画「BSP2025」の振り返り
27 事業環境認識
28 長期経営ビジョン「2040年ビジョン」2ndフェーズの再定義
29 新中期経営計画「BSP2030」における3つの重点戦略
34 経営基盤のさらなる強化

Chapter 4 日揮グループの価値創造と高度化
37 価値創造の歴史
39 事業ポートフォリオの変遷
41 日揮グループの価値創造プロセス
43 日揮グループの経営資本
44 価値創造を支える強み
45 強みのさらなる強化
49 特集①：「遂行2.0」で強化するEPC遂行力

Chapter 5 価値創造を牽引する事業別戦略
53 事業別戦略　総合エンジニアリング事業（海外分野）
55 特集②：先端技術産業分野への挑戦
57 事業別戦略　総合エンジニアリング事業（国内分野）
59 事業別戦略　機能材製造事業

Chapter 6 価値創造を支える基盤
63 日揮グループのマテリアリティ
65 CHROメッセージ
67 人的資本への取り組み
77 知的資本への取り組み
79 サステナビリティ・マネジメント
80 気候変動への取り組み
85 人権の尊重
87 HSSEの取り組み
89 品質マネジメント
90 ステークホルダーエンゲージメント

Chapter 7 コーポレート・ガバナンス
93 役員一覧
95 社外取締役座談会
99 コーポレート・ガバナンス
107 リスクマネジメント
109 コンプライアンス

Chapter 8 企業情報／データ
113 財務・非財務ハイライト
115 財務数値経年推移
117 ESGデータ経年推移
119 連結財務諸表
124 グループ会社一覧
125 株式・株主情報
126 会社概要／用語集

「*JGC Report 2026*」のポイント

「JGC Report 2026」では、新たに発表した中期経営計画「Building a Sustainable Planetary Infrastructure 2030（BSP2030）」を起点に、日揮グループが描く将来像とその実現に向けた価値創造ストーリーをお伝えしています。本報告書を通じて、読者の皆さまに「BSP2030」への理解を深めていただくとともに、その実現に向けた当社グループの強みや取り組みに対する信頼性を高めていただくことを目指しています。制作にあたっての主な特徴は、以下の2点です。

1. 新中期経営計画「BSP2030」の深掘り

新中期経営計画「BSP2030」の重点戦略や具体的な取り組みについて、より深くご理解いただけるよう計画の背景や目指す姿、重点戦略の具体的な取り組み内容などを拡充しました。特に、株主・投資家の皆さまとのエンゲージメントを通じてご関心の高いテーマ「ランプサムモデルの強化」「半導体・データセンター分野のEPC戦略」「機能材製造事業における半導体関連市場」「バイオものづくり」ついては、特集を設けるなど当社の取り組みや戦略、競争優位性などの詳細についてご紹介しています。

CEOメッセージ P.7
CFOメッセージ P.15
新中期経営計画「BSP2030」 P.23
特集①：「遂行2.0」で強化するEPC遂行力 P.49
特集②：先端技術産業インフラ市場への挑戦 P.55

2. 社外取締役座談会の実施

株主・投資家の皆さまとのエンゲージメントのなかで多く寄せられたご要望にお応えし、今回、社外取締役座談会を掲載しました。テーマは、「2025年度の取締役会で重点的に議論した事項」「『BSP2030』の策定に際して重視した論点」「日揮グループの課題と成長への期待」です。社外取締役の率直な議論を通じて、「BSP2030」の実効性や企業価値向上に向けたガバナンスの考え方をお伝えしています。また、社外取締役が果たす監督機能や、多様な知見・経験が取締役会の意思決定にどのような価値をもたらしているのかについてもご紹介しています。

社外取締役座談会 P.95

イントロダクション

日揮グループ At a Glance

主要5社を中心とした2つの事業セグメント

主要事業会社	ビジネスモデル
総合エンジニアリング事業 日揮グローバル株式会社（海外分野）	**EPC※事業（設計・調達・建設）** 各種プラント・設備の事業化調査（FS）役務、基本設計（FEED）役務、EPC※役務を提供 ※ EPC：Engineering, Procurement and Construction **プロジェクト遂行のフロー** 事業化調査 FS ▶ 基本設計 FEED ▶ 設計 Engineering ▶ 調達 Procurement ▶ 建設工事／試運転 Construction **保全（メンテナンス）** 主に国内の石油精製・石油化学プラントを対象に、デイリーメンテナンス、シャットダウンメンテナンスサービスを提供 **プロジェクトマネジメントコンサルティング（PMC）** EPCに係る豊富な知見と実績を活かして、顧客とコントラクターの間を取り持ち、プラント・設備の実現をサポートするコンサルティングサービスを提供
日揮株式会社（国内分野）	
機能材製造事業 日揮触媒化成株式会社	触媒、ファインケミカル、ファインセラミックス製品の研究開発、企画、製造 **ビジネス遂行のフロー** 研究開発 R&D ▶ 企画 Marketing ▶ 製造 Manufacturing ▶ 販売 Sales
日本ファインセラミックス株式会社	
その他の事業 日本エヌ・ユー・エス株式会社など	**コンサルティング、ライセンス、事業参画、プラットフォーム** 各種調査、解析・評価、政策支援などのコンサルティングサービスや、各種分野の事業参画など

事業別戦略 P.53

拠点・従業員数

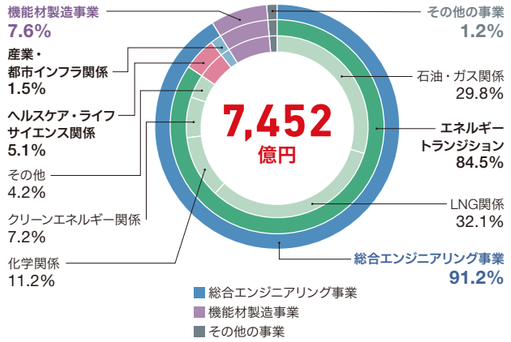
海外主要拠点数
16カ国21拠点

国内拠点数
32拠点

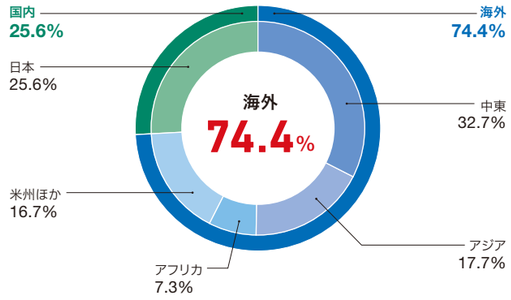
連結従業員数（2026年3月31日現在）
8,154人

2025年度売上高

事業セグメント別売上高比率



国内外・地域別売上高比率



世界のLNGプラント完工実績

30%以上

当社グループが設計・建設したプラントでは、世界の生産量の30%を占めるLNGが生産されています。


LNGプラント（インドネシア）

外洋に設置可能な完工済みFLNGプラント

4分の3に関与

当社グループでは、波の影響の強い外洋に設置可能な完工済みFLNGプロジェクト4件中、3件に関与しています。

80カ国20,000件以上のプロジェクト遂行実績

当社グループは、EPCプロジェクトなどの遂行を通じ、顧客の事業活動を支える各種プラント・施設を実現しています。その実績は世界80カ国20,000万件以上におよび、世界各地域の顧客から当社グループのパフォーマンスは世界最高水準と評価されています。


流動接触分解（FCC）触媒

流動接触分解（FCC）触媒 ハードディスク研磨用シリカゾル

国内シェア第1位

当社グループでは、触媒、ファインケミカル、ファインセラミックスの3つの分野を中心に製造・販売を行っており、特定の製品では高いシェアを実現しています。とりわけFCC触媒は世界でも有数のシェアを獲得しており、世界中の製油所で使用されています。

2040年に目指す姿

5つのビジネス領域で
Planetary healthの向上に
貢献する企業グループ

